

研究・調査報告書

報告書番号	担当
493	独立行政法人酒類総合研究所
題名 (原題/訳)	
GABAergic modulation of binge-like ethanol intake in C57BL/6J mice. C57BL/6J マウスにおける大量エタノール摂取の GABA 性調節	
執筆者	
Moore EM, Serio KM, Goldfarb KJ, Stepanovska S, Linsenbardt DN, Boehm SL 2nd.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Pharmacol Biochem Behav. 2007 Nov;88(1):105-13.	
キーワード	
エタノール、GABA	
要 旨	
<p>GABA 受容体システムのアルコール依存症への関与が長く言われており、げっ歯類では GABA 作用薬がアルコール摂取量を変える効果があることが示されている。本研究ではエタノールの大量摂取モデルでバルコフェン、ムシモール、THIP がどのような影響を及ぼすか調べた。暗期開始後 3 時間、C57BL/6J マウスを 20%エタノール溶液に 1 日当たり 2 時間ほど 4 日間、摂取させる。5 日目にマウスにバルコフェン、ムシモール、THIP を投与して、20%エタノール溶液を 60 分程摂取させる。バルコフェンは投与量依存的にエタノール摂取を増加させたが、ムシモールと THIP はエタノール摂取を減少させた。同じプロトコールでバルコフェン、ムシモール、THIP の水摂取量に及ぼす影響を調べたが、バルコフェンは何も影響を与えず、ムシモールと THIP は水摂取を減少させた。GABA_A 受容体は液体摂取に影響を及ぼす可能性があることが示唆された。</p>	